

## [弓道] 第18回全国大学選抜大会

### 女子が団体3位

第18回全国大学弓道選抜大会が6月25日、東京都渋谷区的全日本弓道連盟中央道場で行われ、女子が団体で3位入賞を果たした。

弓道は決められた本数の矢を放ち、その的中数で順位を競う。弓を引く動作は足踏み、胴造り、弓構え、打起こし、引分け、会、離れ、残心(残身)から成り、射法八節と呼ばれ、少しの精神の乱れで的をはずしてしまう。最高目標は「真・善・美」と言われ、今日では己の精神面を鍛えるスポーツとしての意味合いが強い。

今大会は昨秋のリーグ戦での上位校が選抜されるもので、全国から48校が出場した。順調にトーナメントを勝ち進み、迎えた準決勝の対戦相手は、今回初優勝を遂げ、3回目の射道優秀校に選ばれた立命館大。全員が健闘したものの、的中数で相手を上回ることができなかった。この結果を「入賞できたことはうれしいが、あと一步のところまで行っていたので正直悔しい」と川口悠(文2・秦野高)、「立命館と対等に戦えたことは自信になった」と田中裕美(文4・新城高)はそれぞれ振り返った。

## [弓道] 第36回全関東学生選手権

### 団体4位 個人・坂上4位

6月11日から28日まで日本武道館ほかで行われた第36回全関東学生弓道選手権でも団体で4位、坂上薫(商3・五泉高)が個人で4位と着実に結果を残している。

「目標は8月の全日本学生選手権での優勝です」と坂上が、「秋のリーグ戦で1部昇格をするため、的中率をもっと上げていきたい」と佐久間香織(文3・柏高)が力強く今後の意気込みを語った。ますますの活躍が楽しみだ。

また、田中は「女子部員を募集中です。経験は問わないので興味のある人は生田弓道場を訪ねてください」と話した。

(文・写真とも宮山 友希・文3)

## [水球] 日本選手権<水球競技>

### 惜しくも初戦敗退

6月30日から7月2日まで、東京体育館屋内プールで日本選手権水球競技大会(水球競技)が行われた。

シード権をもつ2チームと予選会を突破した6チームがトーナメント方式で日本一の座を争うこの大会。専大は、初戦で東日本リーグ戦でも戦っている日体倶楽部と対戦した。前半からリードを許し、後半8得点で追い上げを見せるものの逆転ならず、9対14で試合終了。リーグ戦の雪辱はならなかった。

リーグ戦後、泳力と守備力の強化を課題に挙げていた右田裕亮主将(商4・由良育英高)は、「準備期間が短く、課題の克服ができなかった。これからは泳力、守備の強化に加えてカウンターにも磨きをかけたい」と語った。



▲健闘した出場メンバー

(中西 俊介・ネット情報3)

## [バスケットボール] 関東大学・新人戦は7位

## 能登がリバウンド王

関東大学新人戦が6月19日から25日まで代々木第2体育館ほかで行われ、専大は7位となった。個人では能登裕介(経済2・泊高)がリバウンド王を獲得した。

主力選手のけがもあり、苦戦を強いられた。しかし最終日の明大戦では、能登や飯田貴大(経済2・飛龍高)ら2年次生を中心に高さでインサイドを支配し、着実に加点していった。中原雄監督が「今、やろうとしていることができているので良かった」と話すように、価値ある1勝を挙げ、大会を終えた。

日本男子学生選抜大会は、7月7日から9日まで、大阪なみはやサブアリーナで行われた。関東学生代表として喜多川修平(経済3・桐光学園高)が出場。5試合すべてに出場(うち2試合はスターティングメンバー)し、得意の3Pシュートでチームの連覇に貢献した。



(渡部 萌・経済2)

▲リバウンド王・能登

=写真 荻野=

## [卓球] 関東学生選手権

### シングルスダブルスともベスト8

関東学生選手権が6月28日から30日まで、駒沢体育館で行われた。男子シングルスで原雅彦(商4・青森山田高)、女子シングルスでトンジョウ(商4・中越高)がともにベスト8。男子ダブルスでも立石イオタ良二(商3・柳川高)・徳増信弥(経済1・杜若高)組がベスト8入りした。

けがで万全とはいえなかった原だが、次々に勝ち上がり、水野(明大)との準々決勝は「攻めの気持ち」で挑んだ。1セット目を落としたが、2セット目は積極的な攻めが功を奏し11-6。試合をイーブンに戻したが、巻き返され、敗退した。

「レシーブとブロックを強化し、インカレに挑む」。このように語り、8月のインカレに向けさらなる飛躍を誓った。

(橋本 麻未・経済3)

## [アーチェリー] 全日本学生王座決定戦

### 10位に終わる

6月30日から7月2日まで全日本学生王座決定戦が、静岡県ヤマハリゾートつま恋で行われ、男子は10位に終わった。

初日の予選ラウンドでは、強豪・日体大、関東リーグ戦優勝の明大を抑え、1850点の3位で予選を通過。しかし決勝トーナメント1回戦で岡山大に185—190の僅差で敗れ、まさかの初戦敗退となった。1エンド目に12点差がつき、猛追をかけたが、最後まで追いつくことはできなかった。

最終日の全日本学生東西対抗戦には、山本泰志主将(経営4・大宮開成高)、佐伯朋哉(経営1・大宮開成高)が出場し、東軍の勝利に貢献した。

8月には、関東学生個人選手権が控えている。合宿を通して大きく、強く成長した選手たちの活躍に期待したい。

(荻野 敦子・文2)

## [居合道] 全国各流さくらんぼ大会

### 女子二段で渡部優勝

全国各流居合道さくらんぼ大会が6月25日、山形県の村山市民体育館で行われ、女子二段の部で渡部久美子(文4・原町高)が見事優勝。男子段外の部で小林数磨(法1・春日部高)が3位入賞を果たした。

=写真 橋本=

## [フェンシング] 第2回剛騎杯

### 男子エペ 伊藤準優勝 女子フルーレ 高橋3位

6月14日、第2回剛騎杯が東農大体育館で行われた。男子エペで伊藤勇哉(文2・水戸商高)が準優勝、女子フルーレで高橋南(文2・聖霊女子短大附属高)が3位に入った。

伊藤は「久しぶりの試合だったが、勝ち上がるにつれて試合勘を取り戻し、自分のリズムで試合ができたので良かった。次の試合でも上位に入れるように頑張りたい」と話した。

(木村 太一・法3)

## [柔道] 全日本学生優勝大会

### 3回戦で国士大に敗退

全日本学生柔道優勝大会が6月24、25の両日、日本武道館で行われた。初戦で金沢大を危なげなく破ると、続く桐蔭横浜大を接戦の末下し、勢いに乗って臨んだ国士大戦。しかし今大会優勝チームの前に敗れ、ベスト16という結果に終わった。

しかし部員たちはここで満足してはいけない。だからこそあえて言わせてもらおう、「強くなれ」と。

(澤田 和輝・法2)

## [バレーボール] 東日本大学選手権

### 3回戦敗退

東日本大学選手権が6月29日から7月2日まで、北海道立総合体育センターほかで行われ、専大は3回戦で敗れ、ベスト16で大会を終えた。

専大は初戦の北海道教育大学札幌校、続く2回戦の福井工大に貫録のストレート勝ちしたが、国際武道大に0―3で敗北を喫した。

(橋本 麻未・経済3)

## [剣道] 全日本学生

### 渡邊が出場

7月2日、日本武道館で全日本学生剣道選手権が行われた。専大からは渡邊千剛(法4・福岡第一高)が出場したが、初戦突破はならなかった。

## 全日本大学駅伝

### 予選突破ならず

秩父宮賜杯第38回全日本大学駅伝対校選手権大会関東学生陸上競技連盟推薦校選考会が6月24日、代々木公園陸上競技場(織田フィールド)で行われた。専大は3組目終了時点では予選突破ラインの6位に位置したが、6位の國學大と約50秒差の4時間4分55秒90の9位で惜しくも予選突破はならなかった。

選考会は1万メートルを各校2人ずつ4組走り、その8人の合計タイムで、20校が6つの本戦出場枠を争う。主力選手を欠き、箱根経験者が一人と苦しい布陣の中、山本和也(商4・藤代高)、木下卓巳(商2・堀越高)が自己ベストをマークするなど、健闘を見せた。

(宮山 友希・文3)